

さいたま記念病院だより

2023年秋号 No. 2



当院から情報をお伝えする場として、「病院だより」を発行しています（季刊）
当院では今後も安全・安心を第一として診療を続けてまいります。

お知らせ



新型コロナウイルス関連のお知らせ

- 1) 院内感染発生のご報告：8月28日～9月11日までの間、院内感染が発生しました。
入院制限などでご迷惑をおかけしましたが、9月19日より通常の体制に戻っています。
- 2) 今後の感染発生を予防するため、当院での対処方針を以下のように一部変更しました。
 - ① 入院時の全員検査：新規入院時には無症状の方を含む全員に検査を行います。
 - ② 面会制限：10月10日より家族面会「可」となりました。《要予約・少人数・短時間》
 - ③ 発熱のある方の外来診療（継続）
一般の患者さんとは離れた場所（発熱外来）で待機、診察を行なっています。
 - ④ 感染対応入院病床：旧コロナ病床に加えて、感染発症時の対応病床を準備中です。
- 3) 10月以降、新型コロナウイルス感染治療薬の自己負担が発生します。
1割負担：3,000円、2割負担：6,000円、3割負担：9,000円

新しい診療科が始まります *詳しくは病院ブログをご参照下さい。

形成外科（2023年10月6日より 外来診療日：金曜日午前）

担当医師：山本 直人（自治医科大学さいたま医療センター・教授）

対象疾患：皮膚腫瘍、顔面・手外傷、下腿潰瘍や褥瘡などの慢性皮膚潰瘍、
四肢壊疽の救済手術、眼瞼下垂症などの眼瞼疾患、陥入爪の治療
一言：傷あとを目立たなく治し、形態をできるだけきれいに仕上げます。

頭痛外来（2023年10月25日より 外来診療日：水曜日午前）

担当医師：富田愛美（内科・常勤医）

対象疾患：慢性頭痛（片頭痛、群発頭痛、緊張型頭痛）

一言：ご自分の頭痛をよく知り、うまく付き合って生活していくための
お手伝いをします。

救急疾患への対応に関して

救急に対しては24時間対応しています（二次救急指定）。特に、当院かかりつけの方は、
病状に変化があった場合には曜日（外来日）や時間に関わらず早めにご相談下さい。

“やくばと”の導入（2023年8月より） *詳しくはパンフレットをご参照下さい。

ご自身のスマートフォンで、処方箋画像を選択した薬局に送る新しいシステムです。
さいたま市内では159軒の薬局が登録・対応済です（2023年9月末現在）

《院内各部門のご紹介》

放射線科

一般撮影・CT検査・X線透視検査・骨密度検査・病棟でのポータブルX線撮影・手術室での術中X線透視などの画像検査を、医師の依頼のもとに行っています。

患者さまに有益な画像を提供するとともに、安心して検査を受けていただくために被ばく量の低減に努めています。検査のことでご不明な点や被ばくに関する質問がございましたら、ご遠慮なくスタッフにお尋ね下さい。



検査科

臨床検査は、患者様の血液や尿などを検査する「検体検査」と、心電図や超音波など患者様を直接検査する「生理検査」の2つに分けられます。迅速で精度の高い検査を5名の臨床検査技師で心掛けています。

「検体検査」生化学検査、免疫検査、血糖検査、血液・凝固検査、尿一般検査、輸血検査、血液ガス。迅速検査としてインフルエンザ、溶連菌、新型コロナウイルス抗原、PCR検査など。

「生理検査」心電図、肺機能検査、PWV/ABI、聴力検査、超音波検査は心臓・頸動脈・下肢血管・頸部・甲状腺などを幅広く行っています。



薬剤科

患者様に安全にお薬を服用していただくため、医師、看護師と連携し質の高い医療を提供することを目指しております。日々の業務として、処方に基づいた調剤、医薬品情報の提供、薬剤指導等の病棟業務などを行っております。

私たちは、医薬品に関する最新情報の入手に努め、安全に薬物治療を行っていただけるように、皆様のよきサポーターでありたいと願っております。

お薬について何かわからないことがありましたら、いつでもお気軽にお声がけください。



栄養科

①入院患者さんの個々の病態や嚥下障害の程度に合わせた食事の調理全般

②栄養摂取計画の策定

③患者さんやご家族に向けた栄養相談（指導）を行っております。

栄養相談は糖尿病、脂質異常症、高血圧、心不全、慢性腎不全、がん、痛風、高度肥満、嚥下障害等で可能です。食事の面から各種疾病の治療に貢献します。

食事について気になる方はぜひスタッフにお声がけください

(詳しくは病院ブログをご参照下さい)



臨床工学科

我々、臨床工学技士は厚生労働大臣の免許を受け、医師の指示の下に「生命維持管理装置」の操作及び保守点検を行う、医学と工学の両方の知識を兼ね備えた医療スタッフです。

当院では医療機器管理、手術、人工呼吸器、ペースメーカー（デバイス）などの業務に携わっており、普段直接みなさまのお目に掛かる事は少ないですが患者様に信頼される安全安心な臨床工学技術をご提供出来るよう日々努めて参りたいと思います。



《豪雨時の駐車場利用に関してのお願い》

豪雨時には隣接河川の溢水により、駐車場内に水が溜まります。比較的地盤の高い小学校寄りに駐車するようお願いいたします。増水時には館内放送でご案内しますのでご注意ください。